

自己評価等結果報告書

令和 6 年 3 月 22 日

宮崎市長殿

届出者所在地 宮崎市神宮東2丁目6-1

事業者名 株式会社アライヴ

代表者名 千葉 利広

1. 事業所の状況

事業所の名称	ふあいん宮崎		
事業所の所在地	宮崎市宮崎駅東2丁目4-14 ヴィラージュM3 1-S		
事業の種別	<input type="checkbox"/> 児童発達支援	<input checked="" type="checkbox"/> 放課後等デイサービス	
事業所番号	4550100475		
連絡先	TEL	0985-48-8574	E-mail fine488574@gem.bbiq.jp

2. 取組時期

① 保護者等による評価	令和 6 年 2 月 20 日	～	令和 6 年 3 月 8 日
② 職員による評価	令和 6 年 2 月 19 日	～	令和 6 年 2 月 29 日
③ 事業所全体による評価	令和 6 年 3 月 11 日	～	令和 6 年 3 月 15 日

3. 公表方法

公表日	令和 6 年 3 月 22 日
公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページ (URL: https://fine-miyazaki.com) <input type="checkbox"/> 紙媒体を掲示のうえ、保護者へ配布 <input type="checkbox"/> その他 ()
公表内容 (届出書類)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所における自己評価結果 (公表用) <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表用)

担当者名	喜多 薫
連絡先	0985-48-8574

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 22日

事業所名 ふあいん宮崎

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	1		・利用人数によっては狭く感じる。
	2 職員の配置数は適切である	8			・適切ではあるが状況によっては足りないと思うことがある。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	3	・入口に数段の階段があるため職員が見守りや誘導を行っている。	・職員が見守り、誘導を行っている。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	2	・毎朝ミーティング時に気になることを話し合ったり情報の共有を行っている。	・前年よりは改善されているが、継続が必要である。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1		・保護者からの情報は職員間で共有し対応している。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8			・ホームページで公開している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		8		・令和5年4月より設置株式会社スマイルキッズ
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8			・研修等に参加し、その後事業所内で研修内容を共有している。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8			・送迎時やモニタリング時に保護者と話をしたり、支援会議時にニーズの確認をしている。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		8		・状況の把握や情報の把握は共有は行っているがツール等はつかっていない。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	8			・活動担当を決め職員皆で話し合いながら行っている。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8			・季節の行事等を取り入れながら計画している。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	1	・利用する子どもに合わせて対応でき利用に設定し支援している。	・日々の活動を中心に活動担当者が設定している。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8			・職員間で共有して、担当者会議で伝達している。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8			・ミーティング時に子どもたちの状況の把握や情報の共有を行い計画している。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8		・翌日の朝礼で振り返りをし気づいた点、反省、改善点を話し合い共有している。	・翌朝振り返りを行っている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			・翌朝振り返りを行っている。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8			・定期的に職員全員でモニタリングを行い計画についての見直し等を行っている。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	8			・組み合わせを工夫しながら行っている。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8		・児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8		・週ごとに予定表のコピーをとらせてもらい行事の把握を行っている。 ・時間割やホームページで確認している。 ・急な変更等は電話やメールで学校や保護者に確認している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	8		・現在は対象者がいないが、受け入れ時は体制を整える。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8		・関係機関には連絡取れていないが、相談事業所を通じて確認している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8		・対象者はいないが、必要な時期がくれば提出する。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	3	・研修受講後、他職員に周知している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	8		・今後機会があれば検討する。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	8		・今後機会があれば検討する。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		・共通理解、連携が取りづらいこともあるため対応について考慮が必要である。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	6	・職員が研修を受講し、支援が行えるようにする。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8		・利用開始時に重要事項にて行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		・相談があった時は対応している。 ・職員間で共有もしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8		・現時点では行っていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8		・苦情があった場合は、職員間で共有し改善点を話し合っ対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	2	・変更があった時は一人ひとりの連絡帳に文章を貼り付けている。
	35	個人情報に十分注意している	8		・書類を破棄する時はシュレッダーで切断して破棄している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8		・連絡帳やメール、電話等で伝えている。 ・理解してもらいやすくなるよう配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8		・現時点では行っていない、今後検討する。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8		・保護者への周知が足りてないので、ツールを活用する。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		・年に4回(地震・津波・火災)を想定して行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		・研修に参加し周知している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	1	・保護者向けのしおりには拘束についての書類を渡しているが事前説明はしていない。何らかの問題行動が発生した時はその都度保護者に伝える等の対応は行っている	・対象者がいないので記載していない。今後必要であれば記載していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8			・保護者からの聞き取りを行い、職員間で共有しおやつ購入の際は原材料名に配慮し購入している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8			・都度用紙に記入して、職員間で共有している。